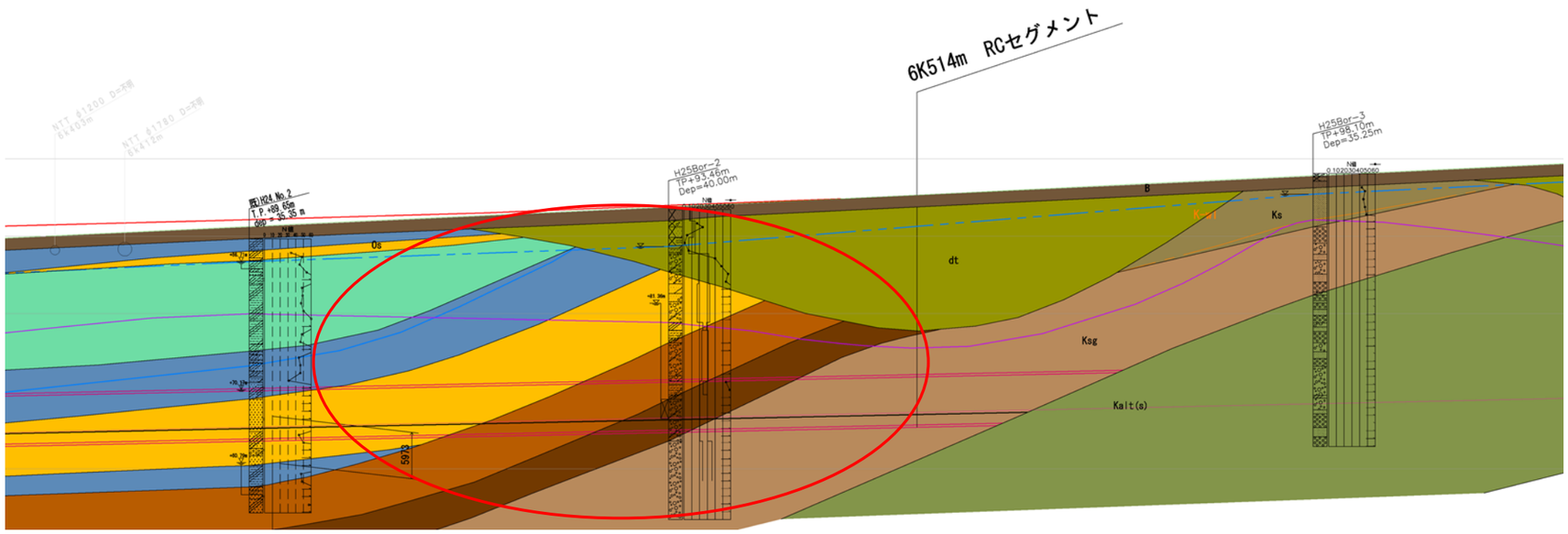
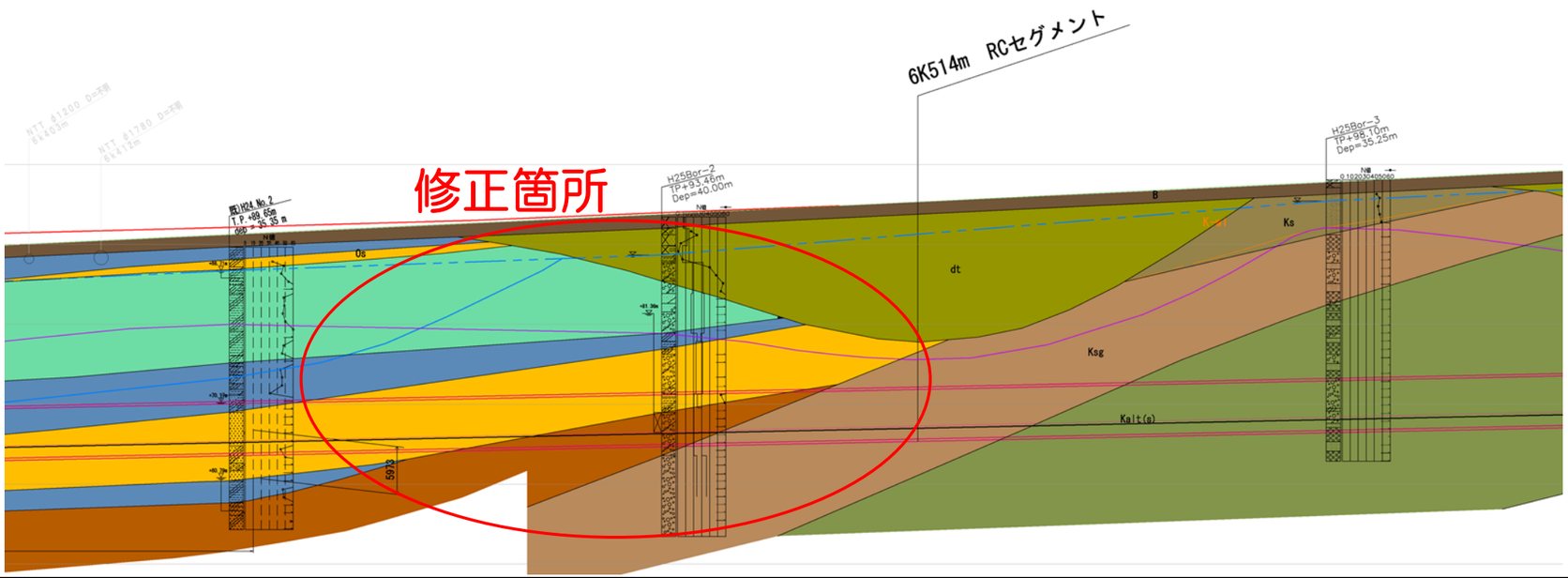
【報告事項１－１．地質想定断面について】

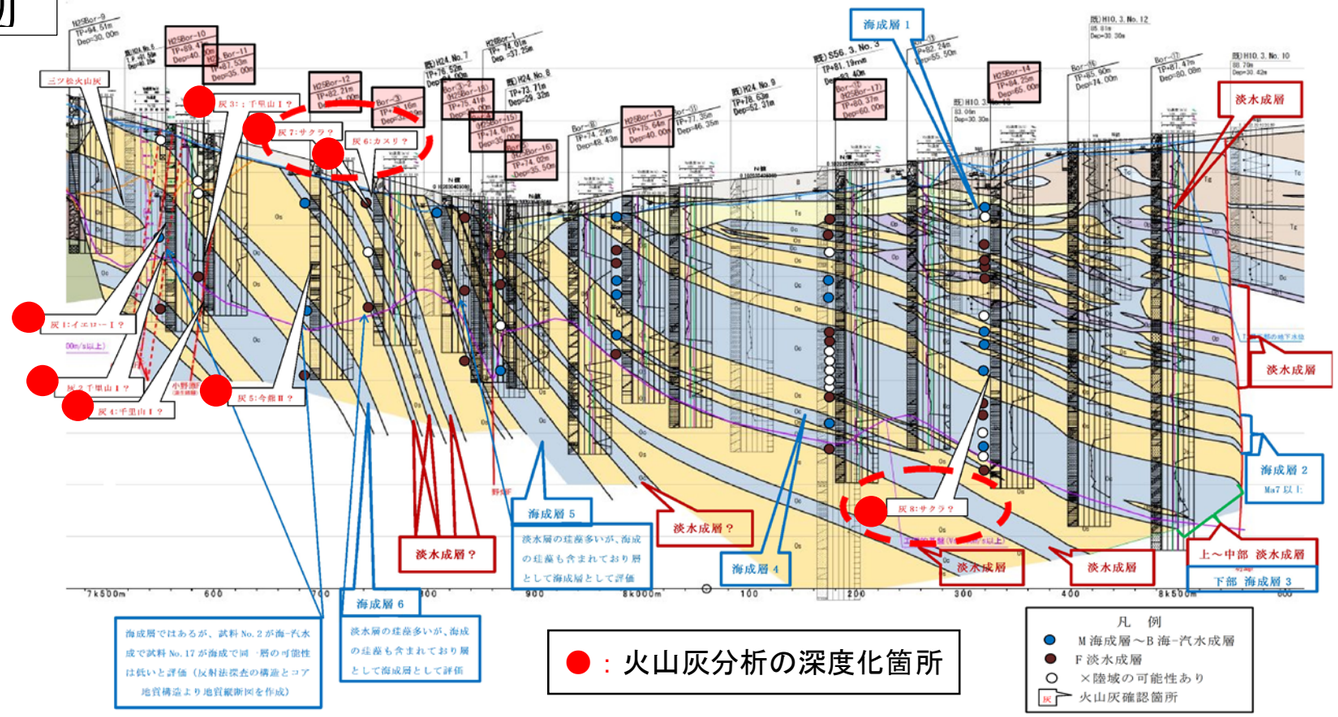
1．神戸層群と大阪層群の境界における地層勾配の修正

第３回技術検討会において、大阪層群南側の神戸層群境界近傍の想定地質断面について再検討するようご指摘を受け、再度検討した結果、地層勾配を下図のとおり見直した。

	地　質　想　定　断　面	指摘・対応
修正前		大阪層群南側が神戸層群境界近傍において不自然に急勾配となっている(図中赤丸部)。この表現では堆積した後に何らかの外的な要因により変形したことになるので、図を変更するのが望ましい。
修正後		H25Bor-2 の地質区分を見直し、大阪層群は神戸層群との境界までほぼ同一勾配で堆積している形とした。

2. 大阪層群北側における地層層序の判定

当初

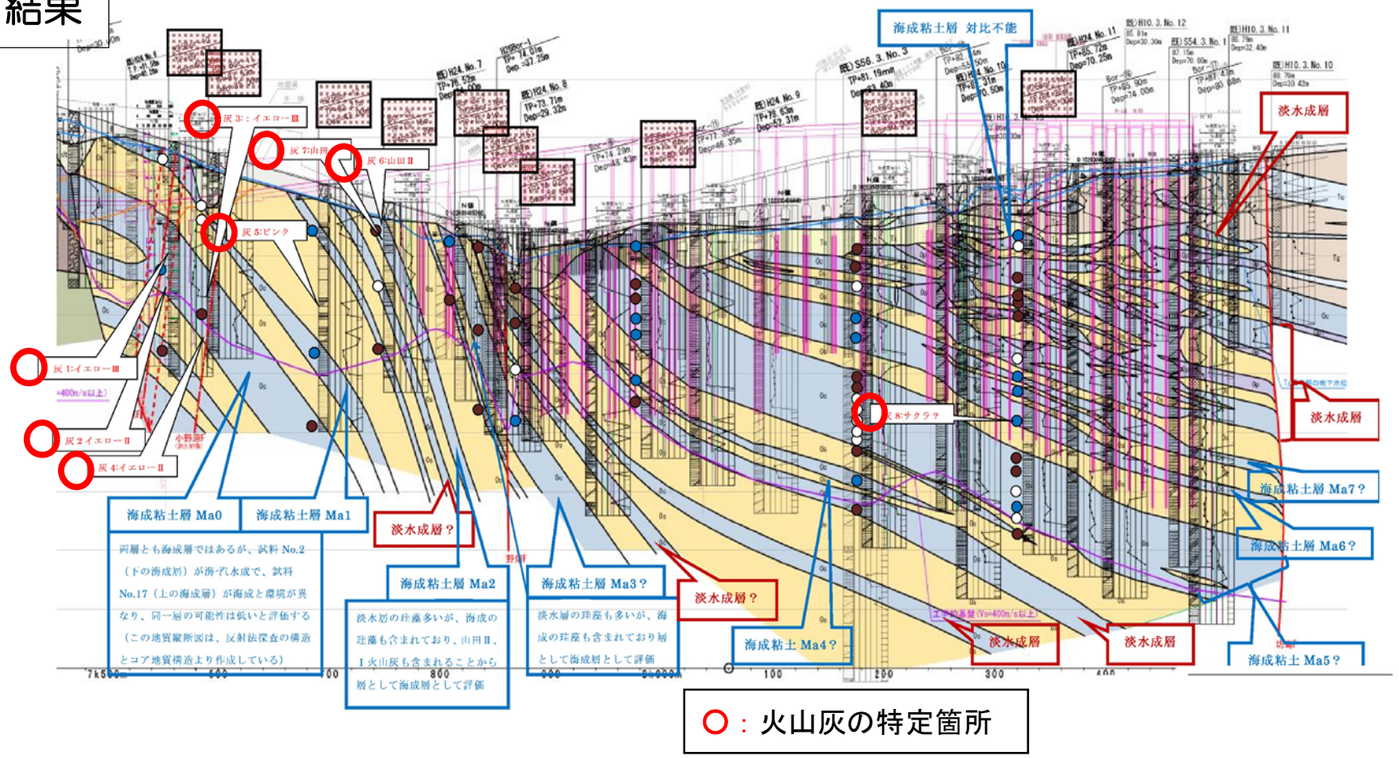


指摘・対応

・一部で地層のつながりが確定できていない。

・地質縦断図において違う層序としている層で、同一の火山灰となっている矛盾があり、再精査が必要である。

結果



・再度火山灰分析を実施

８試料（●箇所）について、火山灰候補の全鉱物組成分析、重鉱物分析により火山灰をほぼ特定。

大阪層群の標準層序と対比を行い、当初の地質断面図については、大阪層群の標準層序と同様の地層層序、構成時代と矛盾がない結果となった。

このため、地質縦断図は変更しない。

大阪層群の標準層序

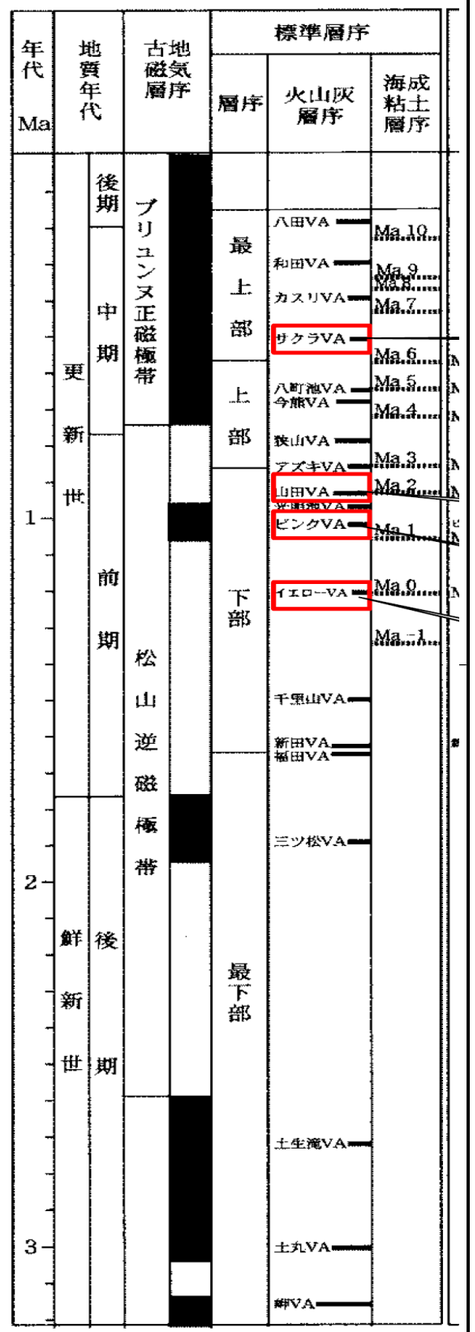


図 2-4-1. 大阪層群の標準